ESPADA
Our Brand Contribute to Safety in the Ocean

Ver4.2

ボンベセット交換説明書

膨脹式ライフジャケット メンテナンスブック

ＢＳ-27Ａ　　ＢＳ-33Ａ

ライフジャケットを洗いましょう！





ＢＪ-270、ＢＪ-2700、ＢＪ-3300用

東洋物産株式会社

マリン部

〒166-0012

東京都杉並区和田 3-53-14

TEL.03-3312-1471　FAX.03-3312-1560

http://www.toyo-bussan.co.jp

膨脹式ライフジャケットはスプール（水感知センサー）の経年劣化により、まれに自然膨脹を起こしたり、水没しても自動膨脹まで時間がかかることがあります。
また、知らないうちに気室に穴が開いていたりすると万が一の場合、大変危険です。
お客様の安全ため、１年に１度程度、下記のメンテナンス実施をお願い致します。

１　ライフジャケットを洗いましょう！・・・P2
パーツをはずすことで水洗いができます。

２　乾燥させながら気密検査をしましょう！・・・P3
気室エア漏れが確認できます。

３　スプール（水感知センサー）を交換しましょう！・・・P4
安定した自動膨脹機能を維持します。

４　外観点検しながら収納しましょう！
ほつれや破損を確認できます。

ＢＪ-2700・・・Ｐ５
ＢＪ-270　・・・Ｐ６
ＢＪ-3300・・・Ｐ７～９

1　ライフジャケットを洗いましょう！

①面ファスナーとボタン（3ヶ所）を外し、気室布と外装布を取り外します。





②ボンベをはずします。



③スプールキャップをはずし、スプールを取り出します。
これで自動膨脹はしません。



④薄めた中性洗剤で、スポンジで軽くこすって下さい。



⑤気室布・膨脹装置もスポンジで軽くこすって下さい。





⑥洗い終わったら、水道水で良くすすいで下さい。



⑦特に膨脹装置は、良くすすいで下さい。また、本体を振って装置内の水気を切ってください。



2 乾燥させながら気密検査をしましょう！

①補助送気装置（吹き込みチューブ）から気室がパンパンになるまで息を吹き込みます。



②直射日光の当たらない、風通しの良い場所で乾燥させて下さい。



③１～８時間放置後、手で押して気圧を確認します。



④減っている場合は、再度空気を吹き込み、水没検査を行って下さい。



⑤気室から気泡が発生しなければ問題ありません。もし気泡が発生する場合は空気漏れを起こしていますので、直ちに使用を中止して、メーカー点検を受けてください。



⑥乾燥したら空気を抜きます。吹き込みチューブキャップのつばの部分をチューブに差し込むと、逆止弁が押されエアーが排気できます。
尖ったものを差し込まないで下さい。



⑦製品を丸めて最後までエアーを抜いて下さい。



⑧逆止弁に異常が無いことを確認し、キャップをしめて気室を外装布に収納します。



3　パーツを交換しましょう！

①完全に乾いていること、空気が抜けている事を確認して下さい。



②特に膨脹装置内は念入りに水滴を取って下さい。



③作動レバーが下がっている時は、上に戻して下さい。



④新しいスプールをセットします。スプールインジケーターが緑色になっていることを確認して下さい。





⑤スプールキャップに隙間が無い事を確認！



⑥未使用のアダプタ付ボンベの矢印部分に沿って、膨脹装置の奥まで押し込んだ後、右に回して下さい。ボンベインジケーターが緑色になっていることを確認して下さい。





⑦完成



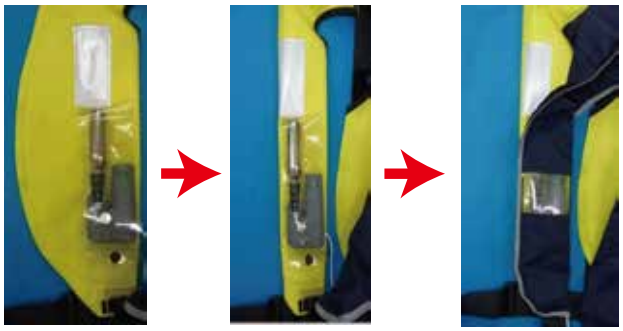
4 外観点検しながら収納しましょう！

ＢＪ-2700収納方法

①気室布と外装布をボタンで留めます。



②気室の側面を膨脹装置に見えるように、
両端を山折りします。



③側面を面ファスナーで止めます。



④反対側も②～③と同様に閉じます。



⑤本体を裏にして上側気室を斜めに折り、
三角形を作ってください。



⑥三角形を二つ折りにします。



⑦面ファスナーを閉じて下さい。



⑧作動索が出ているか確認して下さい。



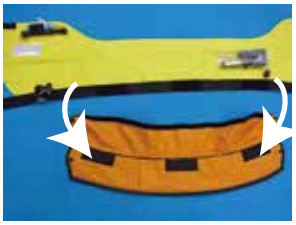
⑨完成



4　外観点検しながら収納しましょう！

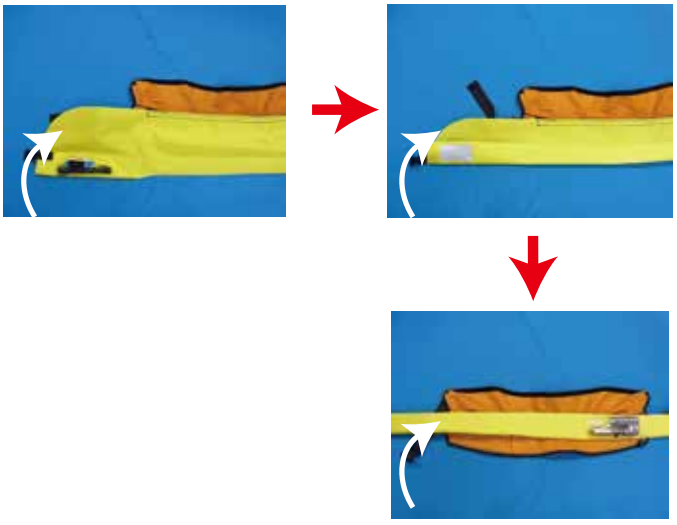
ＢＪ-270収納方法

①気室布と外装布を面ファスナーで止めます。(3箇所)





②気室布を三回谷折りします。



③気室布の両端を中央に折ります。



④気室を押さえたまま、外装布で気室を覆うように面ファスナーを止めていきます。中央部から徐々に気室を収納しながら面ファスナーを止めていくと、折りたたみやすくなります。



⑤作動索が出ているか確認して下さい。



⑥完成



4　外観点検しながら収納しましょう！

ＢＪ-3300 収納方法

① 気室布と外装布をボタンで留め(2箇所)、内側から被せるように外装布を取り付けます。









② 外装布底辺部分の面ファスナーを仮止めします。







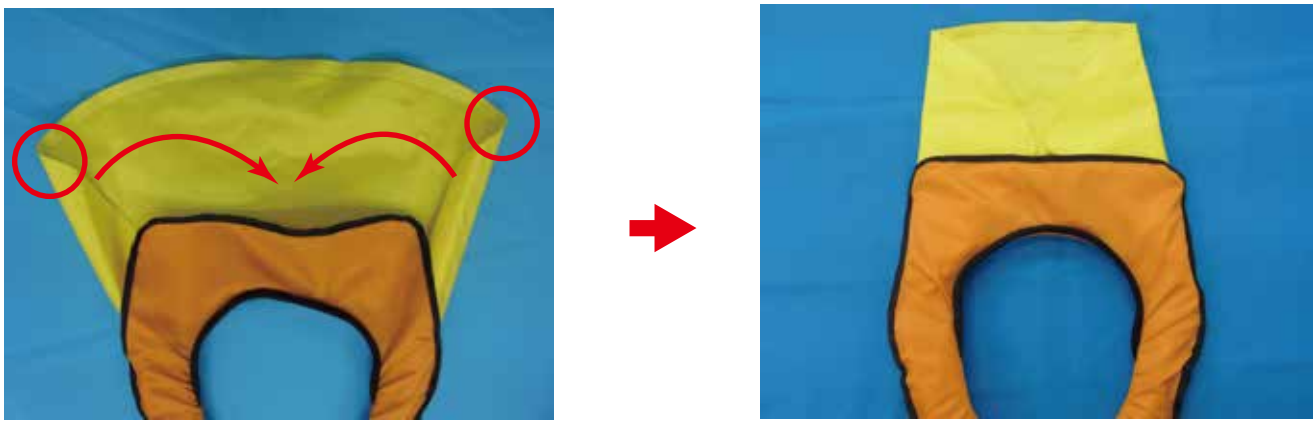
③ 気室の側面を外装布裾のテープの角（下図、□部分）から斜めに2回谷折りしたら、
サイドベルトの付いている部分を山折りで手前に折り返し、面ファスナーを閉じます。



④ 反対側も③と同様に折り畳み、面ファスナーを下から右図の〇印のあたりまで閉じます。



⑤ 表に出ている気室の両端を、それぞれの角が気室の中央あたりに来るよう谷折りします。



⑥ ⑤の状態の気室を２回谷折りし、外装布の面ファスナーを全てしっかり閉じて収納します。



⑦ “PULL⇩”マークの下から作動索が出ているかを確認したら、完成です。



膨脹装置を適切に作動させるため、作動索は必ずPULL⇩マークの下から出すようにして下さい。

膨脹式ライフジャケットの安全使用について

このようになっていませんか？　膨脹式ライフジャケットの点検を行いましょう。



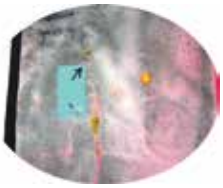
作動索が隠れていませんか。掴めるようにジャケットの中から出してください。



空気漏れはありませんか。吹き込みチューブに息を吹き込んで確認します。



ボンベやスプールが破損していませんか。錆・傷等のない事、取付状態も確認します。



気室布が破損していませんか。



ベルトが破損していませんか。



バックルが破損していませんか。

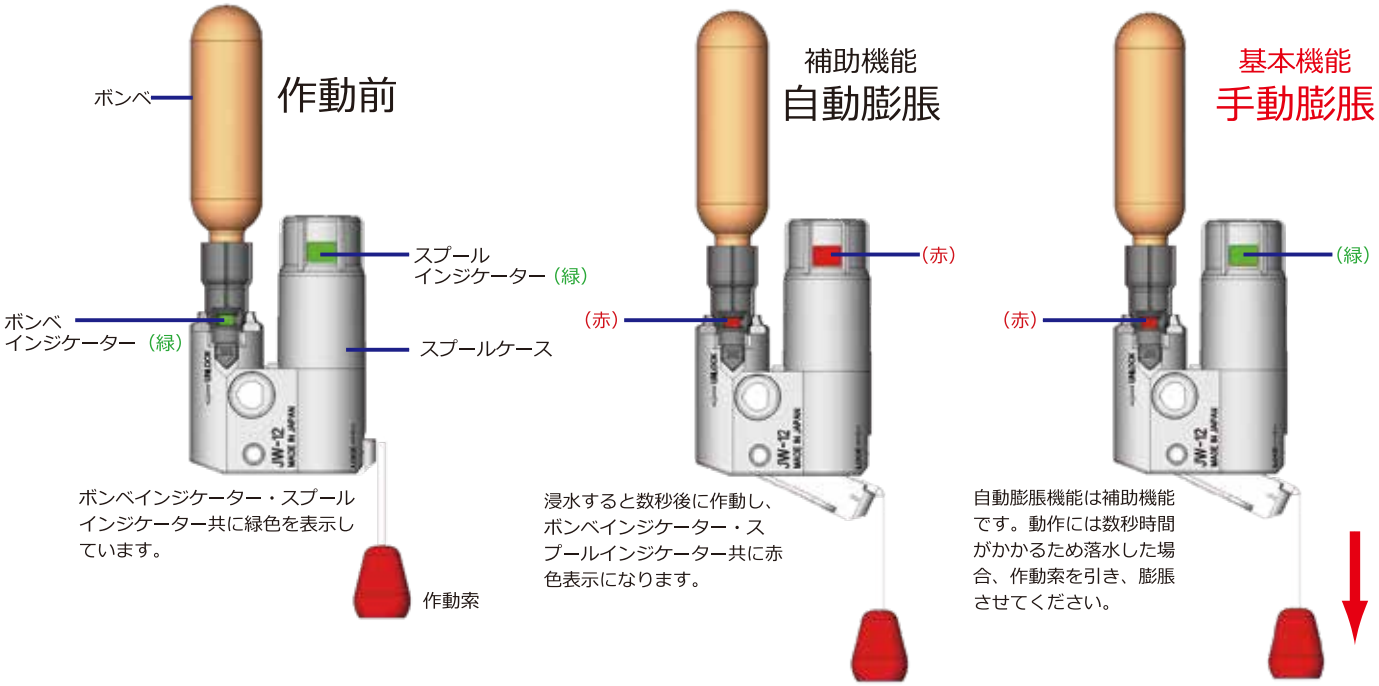


縫糸がほつれたり切れていませんか。

写真　小型船舶関連事業協議会「日常点検」チラシより

自動膨脹の仕組み（膨脹装置）

自動膨脹式ライフジャケットには、作動索を引き膨脹する手動膨脹機能と、スプールが水分を感知して膨脹させる自動膨脹機能が膨脹装置の中に二つ組み込まれております。落水時の姿勢や落ちたときの状況により、自動膨脹装置の作動時間にバラツキがでますので、自動膨脹機能はあくまで補助的な機能とされております。安全を素早く確保するために、落水時には手動にて作動索を引き膨脹させてください。万が一膨脹装置が作動しない場合は、吹き込みチューブより直接口で息を吹き込み気室を膨脹させることができます。膨脹式ライフジャケットを装着する場合、作動索が隠れないようにし、作動索が手ですぐに掴むことができるよう着用時に必ず確認してください。



膨脹式ライフジャケットの安全使用について

点検・保管について

1. 購入後は付属の取扱説明書を必ずお読みください。
2. 購入後は炭酸ガスボンベ、スプールが正しく装着されている事、かつ使用済みでないこと、吹き込みチューブ、本体、膨脹装置が壊れていないことなどの点検を行ってください。
3. お客様の安全のため、ご購入後１年に一度程度の点検、ボンベ・スプールの交換をおすすめします。ご自分での点検方法は販売店又は弊社ＨＰ等にてご確認ください。
4. 大量に雨や水しぶきがかかったり、湿気等を帯びて陸上で自動膨脹することがあります。車のトランクや道具入れ等、湿気を帯びた用具と共に放置したりすることは避け、保管時はよく乾燥させ、湿気の少ない通気性のある場所で保管してください。

着用について

1. 手動膨脹させるための作動索が、着用時に隠れてないか必ず確認してください。
2. ベルトの締め付けがゆるい場合、落水時にジャケットが体から外れる恐れがあります。着用時はバックルのベルトを調節して体にフィットさせてください。
3. 膨脹式ライフジャケットを着用する際は、必ず一番上に着用してください。合羽等の下（内側）に着用しますと、作動索が引けず、自動でも膨脹しないことが考えられ大変危険です。
4. 漁具、突起物、刃物、鋭利なもの、釣り針等で外装布・気室を傷めないようにご注意ください。
5. 作業中、頻繁に膨脹してしまう等の場合は、固型式ライフジャケットのご使用をご検討ください。
6. 自動膨脹機能は補助機能です。自動膨脹機能が付いていても万一の落水時は手動で膨脹させることが基本です。手動で膨脹させることが出来ない方や点検等が実施できない方はお客様の安全のため固型式ライフジャケットのご使用をご検討ください。



YouTubeチャンネル

下記URLにライフジャケットのメンテナンス動画を公開しています。
随時製品を追加予定ですので、是非ご参照下さい。
チャンネル名：ESPADA公式チャンネル
https://www.youtube.com/channel/UC4xAkM4GEj-Dau0bjkRSjbA

東洋物産株式会社
マリン部
〒166-0012
東京都杉並区和田 3-53-14
TEL.03-3312-1471　FAX.03-3312-1560
http://www.toyo-bussan.co.jp

メーカーメンテナンス取扱店